

経済情報ピックアップ

「世界経済見通し（2022年4月）」の結果について

国際通貨基金 (IMF) は、4月19日、「世界経済見通し (2022年4月)」を公表しました。

今回見通しでは、2022年の世界経済の成長率は、前年比3.6%成長と、1月の見通しに比べ▲0.8ポイント (以下、P) と大きく下方修正されました。世界経済は、新型コロナウイルスの影響で2020年に同-3.1%とマイナス成長となった後、21年は同6.1%と回復しましたが、22年はその回復が妨げられる姿となっています。

こうした背景には、世界経済がコロナ禍から完全に回復していない中で、2月に開始したロシアによるウクライナへの軍事侵攻が資源価格の上昇を通じて物価を一段と上昇させ、物価抑制に向けた各国の利上げが経済を減速させる、といった負の連鎖が挙げられます。

IMFは、2022年の消費者物価上昇率見通しを、先進国で+5.7% (1月見通し比+1.8P)、新興・途上国で+8.7% (同+2.8P) に上方修正しており、世界で物価上昇圧力が強まる見通しです。

地域別にみると、ほとんどの国・地域で2022年の成長率が下方修正されています。

先進国では、2022年の成長率が3.3%と、1月見通しから▲0.6P下方修正されています。

米国は、2022年の成長率が3.7%と、1月見通しから▲0.3P下方修正されています。物価上昇を抑制するため、連邦準備制度理事会 (FRB) が金利引き上げを加速していることが反映されています。

ユーロ圏は、2022年の成長率が2.8%と、戦争の影響が大きく、1月見通しから▲1.1Pの大幅な下方修正となっています。とくにドイツは、ウクライナからの部品供給

の停滞等が製造業へ影響したことから大きく下方修正されています。

日本は、2022年の成長率が2.4%と、▲0.9P下方修正されています。原油等の輸入依存度が高い日本では、原油価格のさらなる上昇が内需を低迷させるとみえています。

新興市場国・発展途上国は、2022年の成長率が3.8%と、1月見通しから▲1.0P下方修正されています。

ロシアは西側諸国の経済制裁によって▲8.5%、ウクライナは甚大な被害によって▲35.0%のマイナス成長に陥る見通しです。

中国は、2022年の成長率が4.4%と、1月見通しから▲0.4ポイント下方修正され、2021年の8.1%から減速しています。また、中国政府が目標に設定している「5.5%前後」の成長率を下回っています。中国では3月以降新型コロナウイルス新規感染者数が急増しており、「ゼロコロナ」政策による都市封鎖 (ロックダウン) を実施しています。これによって個人消費を中心に経済が減速する見通しとなっています。

一方、サウジアラビアやブラジルといった一部の資源国は、資源価格上昇やロシアの代替需要によって成長率が上方修正されています。

IMFでは、対ロシア制裁の拡大や予測を上回る物価上昇、致死率の高い変異株の発生による新たなロックダウンなど、こうした見通しへの不確実性は非常に大きいと指摘しています。

2023年についても、世界経済全体で3.6%と、1月見通しから▲0.2P下方修正されています。

(主任研究員 山田 浩司)

世界経済見通し (実質GDP、2022年4月時点)

					%, %ポイント				
国・地域	2020年	2021年 推定	2022年 予測	2023年 予測	国・地域	2020年	2021年 推定	2022年 予測	2023年 予測
世界	▲3.1	6.1 (0.2)	3.6 (▲0.8)	3.6 (▲0.2)	新興・途上国・地域	▲2.0	6.8 (0.3)	3.8 (▲1.0)	4.4 (▲0.3)
先進国・地域	▲4.5	5.2 (0.2)	3.3 (▲0.6)	2.4 (▲0.2)	ロシア	▲2.7	4.7 (0.2)	▲8.5 (▲11.3)	▲2.3 (▲4.4)
米国	▲3.4	5.7 (0.1)	3.7 (▲0.3)	2.3 (▲0.3)	中国	2.2	8.1 (0.0)	4.4 (▲0.4)	5.1 (▲0.1)
ユーロ圏	▲6.4	5.3 (0.1)	2.8 (▲1.1)	2.3 (▲0.2)	インド	▲6.6	8.9 (▲0.1)	8.2 (▲0.8)	6.9 (▲0.2)
ドイツ	▲4.6	2.8 (0.1)	2.1 (▲1.7)	2.7 (0.2)	ASEAN5	▲3.4	3.4 (0.3)	5.3 (▲0.3)	5.9 (▲0.1)
フランス	▲8.0	7.0 (0.3)	2.9 (▲0.6)	1.4 (▲0.4)	ブラジル	▲3.9	4.6 (▲0.1)	0.8 (0.5)	1.4 (▲0.2)
イタリア	▲9.0	6.6 (0.4)	2.3 (▲1.5)	1.7 (▲0.5)	メキシコ	▲8.2	4.8 (▲0.5)	2.0 (▲0.8)	2.5 (▲0.2)
スペイン	▲10.8	5.1 (0.2)	4.8 (▲1.0)	3.3 (▲0.5)	サウジアラビア	▲4.1	3.2 (0.3)	7.6 (2.8)	3.6 (0.8)
英国	▲9.3	7.4 (0.2)	3.7 (▲1.0)	1.2 (▲1.1)	南アフリカ	▲6.4	4.9 (0.3)	1.9 (0.0)	1.4 (0.0)
日本	▲4.5	1.6 (0.0)	2.4 (▲0.9)	2.3 (0.5)	ウクライナ	▲3.8	3.4	▲35.0	-
カナダ	▲5.2	4.6 (▲0.1)	3.9 (▲0.2)	2.8 (0.0)					

注1: ()内は2022年1月見通しからの変化。

注2: ASEAN5は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、ベトナム、タイ。

出所: IMF「World Economic Outlook」(2022年4月)